

CERRESA

NO.245



特集 都市農業における体験型農園



<http://www.jaceresa.or.jp/>

セラサ
2

2018.February

Contents

特集	都市農業における体験型農園	3
	川崎探検隊 三田を歩く	8
PICK UP		10
逸	絵手紙を通じて交流を深める 幸区・深瀬 二郎さん	14
Handman	利用者に寄り添うケアを 宮前区・井田 友子さん	15
パワー全開	誰もが喜ぶ景観を作るために 高津区・三家 恵伍さん	16
食農NOU	ミズナ	17
	農作業ノート 露地トマト黄化葉巻病の被害を防ぐために 営農技術顧問・吉田 敏政	18
	農協改革 & 運勢	19
	mail box & クロスワードパズル	20
	JAからのお知らせ & 教えてJA! Q&A広場	21
INFORMATION		22
ファーマーズ	多摩区・松本 崇さん 宮前区・藤田 信夫さん 高津区・森 辰雄さん 麻生区・小山 仁美さん	23
Dish Up!	豚スペアリブ 中原区・伊藤 珠芸さん	24

3月の行事予定

9日(金)	J A セレサ川崎創立20周年記念女性部大会 (13時～、本店)
12日(月)	各種共進会・品評会褒賞授与式 (16時～、本店)
13日(火)	J A セレサ川崎創立20周年記念組合員の集い (11時～、15時10分～ 川崎市スポーツ・文化総合センター)
14日(水)	J A セレサ川崎創立20周年記念組合員の集い (11時～、15時10分～ 川崎市スポーツ・文化総合センター) セレサモス出荷者意見交換会 (18時～、菅支店)
15日(木)	J A セレサ川崎創立20周年記念組合員の集い (11時～、15時10分～ 川崎市スポーツ・文化総合センター)
16日(金)	J A セレサ川崎創立20周年記念組合員の集い (11時～、15時10分～ 川崎市スポーツ・文化総合センター)
19日(月)	セレサモス出荷者意見交換会 (18時～、橋支店)
20日(火)	定例理事会 青壮年部20周年式典 (17時～、本店)
21日(水)	春分の日
22日(木)	セレサモス出荷者意見交換会 (18時～、柿生支店)
27日(火)	臨時理事会
30日(金)	経済センター・パーシモン決算棚卸し休業 (正午～)

※日程等は変更されることがあります

今月の表紙

市内唯一の養豚家

今月の表紙は、市内で唯一養豚を営む高津区久末の森一彦さん。両親とともに常時500頭ほどの豚を飼育しています。

森さんは毎週水曜日に沼津で子豚を仕入れ、パントリキッドタイプの飼料を混合したものを与え、5か月ほど育てて出荷。良質な豚肉は土日にセレサモス宮前店でも販売され、「甘みがあっておいしい」とお客さんから好評です。

毎日の餌やりなどは大変ですが、お客さんの声を励みに、今日も作業に精を出します。





都市農業に おける体験型農園

市内の直売所やセレサモスは、新鮮で安全・安心な農産物を求め、開店前から行列を作るほど人気を集めています。

こうした状況の中、単に農産物を買求めるだけでなく、実際に農産物を栽培したいという市民も多く、収穫体験や市民農園などのニーズが高まっています。

その中で体験型農園は、園主にとって農地の維持に加え、安定した農業所得を得ることができ、市民にとっても手軽に始められることから注目を集めています。

そこで今号では、体験型農園を通じて市民に都市農業の魅力を伝える3人の園主を紹介します。



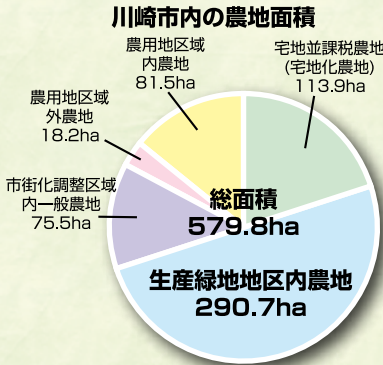
体験型農園への期待

平成27年固定資産概要調査などによると、川崎市の農地面積は579・8haあり、その内生産緑地は290・7haと50%を占めています。

こうした中、現行の生産緑地制度開始後30年となる平成34年まで残り4年と目前に迫り、この期限後に生産緑地の買い取り申請が一旦に出され、市内の農地が減少することが懸念されています。

一方で、市内では農業体験を希望する市民も多く、農産物の収穫体験をはじめ、市民農園、地域交流農園、農業者が実施する体験型農園などさまざまな形で農業に触れています。

平成23年の農林水産省都市農村交流課調べによると、川崎市の市



資料：平成27年固定資産概要調査、川崎農業振興地域整備計画(平成25年12月改定)、川崎都市計画生産緑地地区の変更(平成26年12月告示)

市民農園の応募率 (平成23年3月末現在)

	応募率 (%)
全国平均	125
東京都特別区	264
川崎市	451
名古屋市	297
大阪市	273

資料：農林水産省都市農村交流課調べ

民農園の応募率は451%で、全国平均の125%に対し、3・6倍となっています。この数値は、東京、名古屋、大阪の三大都市よりも高く、市民の農業への関心の高さが伺えます。

このように需要が高い市民農園では、利用者は土地を借り、自由に作付けをすることができ、十分な管理が行き届かないなど課題もありました。

一方、体験型農園は、農具や種苗など農作業に必要なものは園側で用意するので、利用者は手ぶらで農園に訪れることができます。園主などから指導を受け、栽培する過程を楽しみながら品質の高い農産物を収穫することができ、充実した農園生活を送ることができます。

下段以降では、利用者の農業への理解促進に向けて体験型農園の園主が行っているさまざまな取り組みを紹介します。

体験型農園を通じて交流を深める

麻生区早野 伊藤 孝子さん74

市街化調整区域内の農業振興地域で農業を営む伊藤孝子さん。夫の正さんと2人で、100㎡近い農地を維持することに限界を感じ、有効活用する方法を模索していたところ、10年ほど前に川崎市から体験型農園の提案を受けました。

当初、利用者の多くは農業経験がなく、約50年の農業経験がある伊藤さん夫婦も、指導することは未経験。農作業のノウハウを伝えることができるか不安もありましたが、「教えるからには、利用者が満足していく野菜を栽培できるようにしてほしい」と、農業新聞や家の光などを活用しながら利用者



ハクサイを収穫する伊藤さんと利用者

に分かりやすい説明ができるよう改めて勉強し直しました。

こうして学んだ知識を活かしながら指導を続けていくと、利用者が少しずつ技術を身に付け、互いに声を掛け合いながら自発的に作業ができるようになりました。

今では、約15㎡の田畑で利用者同士協力しながら、耕耘や植え付け、マルチ張り、除草、収穫などすべての農作業を行っています。栽培品目は季節に合わせて、春はのらぼう菜、夏はトマトやキュウリ、秋から冬にかけてはダイコンなど年間30品目以上の野菜の他、神奈川県奨励品種米「はるみ」など、利用者が楽しめる作付け計画を立てるようにしています。

また「利用者間の絆を深めてほしい」との思いから、年間を通して数多くの交流会を開催。7月はカレー、12月は餅つき、1月は七草がゆなど農園で収穫した農産物を使って調理しています。主に男性は収穫、女性は調理を担当。野ザリを収穫した時は、「普通のセリと比べて香りが強いから、胡麻和えにするとおいしいよ」など、それぞれの家庭の調理法の話で盛り

上がり、アットホームな雰囲気です。楽しい時間を過ごします。

利用者とは園主という垣根は低く、開園時7人だった利用者は現在24人が継続利用するまでになりました。引越したなどのやむを得ない事情を除き、誰一人としてやめていません。利用者は男女30代から70代までと年齢層は幅広く、5年間継続利用している60代の夫婦は「異なる世代でも農作業を通じて気軽にコミュニケーションをとれて楽しい」と笑顔を見せています。

体験型農園以外にセラサモスへ出荷するための野菜を栽培していますが、4年前に正さんが他界。これまで以上に農地を維持することが難しくなり、規模の縮小も検討していたところ、数人の利用者



利用者と交流を深める伊藤さん(中央)



伊藤さんと援農に来た利用者

から援農の申し出がありました。

利用者は毎週水曜日にトラクターでの耕耘、播種や苗の定植、除草などさまざまな農作業を支援。

「利用者の皆さんの支えは本当にありがたい」と話す伊藤さんに対し、定年退職後からの利用者は「伊藤さんのおかげで農園生活が充実し、第2の人生が本当に楽しい」と笑顔で話します。

農地の維持を目的に始めた体験型農園ですが、今では利用者との交流を楽しめる上、日々の農作業の支えと励みにもなっています。

今後も「体験型農園を通じて大切な農地を守りながら、農業の魅力を多くの人に伝えていきたい」と意欲を燃やしています。

農園「教室」で理解者を増やす

多摩区登戸 三平 勝政さん

小田急線向ヶ丘遊園駅とJR南武線登戸駅から徒歩10分以内の住宅地に畑がある三平勝政さん。妻のまさ子さんと梨やナスなど約30品目の果樹・野菜を直売する他、収穫体験や食農教育にも力を入れ、農園で小学生に梨の授粉や摘果など一連の過程を教えています。

こうした中、10年ほど前に「地域住民も含め多くの人に深く農業に興味をもってほしい」との思いで、体験型農園を開園しました。

当初は、ほとんどの人が農業初心者で、利用者ごとに区画を設けて個々で管理していましたが、成功



ネギの掘り方を指導する三平さん

や失敗の経験を共有することにより一体感が生まれ、収穫する農産物の品質を均一化できると考え、1か月ほどで利用者全員での協同方式に変更。農具の使い方やマルチ張りなど基本的なことを指導した後は、極力利用者同士で話し合っただけにしてもらおうようにしました。初めの内はぎこちなくても、回数を重ねるごとに交流が生まれ、利用者が積極的に農作業に励むようになりました。

現在25坪ほどの畑では、23人の利用者が夏はナスやキュウリ、秋はカボチャ、冬はサツマイモやネギなど年間約30品目の野菜を栽培しています。またスイカ、モロヘイヤなど「〇〇を育ててみたい」という要望があれば種苗を用意し、うまく栽培できるように指導しています。

また、今年度は栽培技術だけでなく知識も深めてもらおうと、初めてネギの生育状況の比較検討会を実施しました。2品種のネギを同じ面積で育て、収穫量が大きく異なることなどを確認。同じ品目でも品種の違いにより価格に差が出ることを学んでもらいました。利



収穫したネギを確認する三平さんと利用者

用者の中には、検証結果を学べたこと以上に、立派なネギを作れたことに大きな喜びを感じた人もいました。

このように農園で学んだ経験を活かして「自宅でも家庭菜園に挑戦したい」と意気込む利用者や、農園を卒業し個人で畑を借りて栽培をしている人もいます。利用者が農業に深く興味を持ってもらえたことに、喜びと手応えを感じています。

また「利用者間の交流をさらに深めてほしい」との思いで、年に2回収穫祭を開催。昨年は、6月にジャガイモを収穫して肉ジャガやジャガ餅を作り、12月は利用者



交流を深める三平さんと利用者

からの要望で育てたコンニャクイモを収穫し、妻のまさ子さんの指導の下、コンニャク作りを行いました。全員で協力しながら和気あいあいとコンニャクを作り上げ、青空の下で食事を開き、収穫の喜びと作りたての料理を味わいました。

多くの人に農業に興味を持ってもらうために始めた体験型農園ですが、利用者が楽しみながら学べる企画を行うことで、今では交流を深める貴重な場にもなっています。今後も「たくさんの交流を育む体験型農園を通じて、都市農業の理解者を増やしていきたい」と、力強く語ります。

農業を通じた「コミュニティづくり

宮前区馬絹 梅原 正寿さん

東急田園都市線宮前平駅から徒歩圏内の住宅地で、家族3人で農業を営む梅原正寿さん。周囲へ配慮しながら60㎡以上の農地すべてを維持していくことに悩み、安定した収入を得ながら農地を維持できる方法を検討していたところ、JAから提案を受け、昨年9月に「あぐりっこ農園宮前平」を開園しました。

自宅前の直売所には多くのリピーターがいて、農園の利用者には直売所の常連客もいます。それまでは、農作業が中心だったため、直接話すことはほとんどありませんでしたが、農園を開園した後は利用者とは話す機会が増えました。



利用者と笑顔で話す梅原さん



生育状況を確認する利用者と梅原さん

17年間の農業経験があるものの、指導者としては初心者。1区画15㎡の畑では、利用者のニーズに合わせた作付け計画を立てるにあたり、21組の利用者にアンケートを実施しました。要望があったスナックエンドウやトマト、ハクサイなど年間20品目以上の栽培を目指しています。

手探りでの栽培指導を続ける中で利用者から「スーパーで売っている野菜の味と全然違う」「私でも立派な野菜を作ることができた」といった声を聞き、大きなやりがいを感じています。

開園後約5か月が経ちましたが、今後も続けて利用してもらうために、快適な農作業の環境と利用者同士が気軽に話せるコミュニティづくりが必要と考えています。

利用者が少しでも快適に過ごせるよう農園内には、栽培用とは別にビニールハウスを設置。ハウス内には給湯器とお茶を用意し、温かい飲み物を飲めるようにしています。雨風と寒さを防ぐことができます。「農作業の合間に休める」と利用者から好評です。

また「利用者同士の仲を深めてほしい」との思いで、昨年12月には交流会を開催。市内農業に関するクイズ大会や、自農園のミカン狩りを行い、家族連れなど多くの利用者に喜んでもらえました。

さらに1月に行った「あぐりっこ農園五月台」との合同交流会では、妻の晴海さんと2人で講師を務め、ミカンジャムとピール作りを実施。皮の剥き方から、えぐみを取るための茹で時間や回数、アク抜きの方法などを細かく伝えました。利用者の多くが初対面にも関わらず、農業という共通の趣味のおかげですぐに打ち解け、子どもから大人まで喜んでもらえました。家族で参加した利用者は「普段は仕事で帰りが遅く子どもと接する時間は少ないが、この農園のおかげで毎週日曜日は家族そろって充

実した時間を過ごせる」と新たな効果を実感しています。

来年度は、農園設備のさらなる充実に向け、日差しや暑さを防ぐ設備の他、交流会などで使用できるピザ窯や調理場など、利用者がより楽しめる方策を検討しています。試行錯誤の日々は続きますが、「利用者が喜んでいる姿を想像するとそんな疲れも消え去ります」。

今後体験型農園の他に収穫体験も計画していて、体験型農園・直売所・収穫体験というそれぞれの強みを活かし、「自農園の魅力を多くの人に伝えていきたい」と意欲を燃やしています。



ジャム作りをする梅原さんと晴海さん(右奥2人目)と利用者

都市農業の振興のために

今回紹介した3人の園主は、これまで培った経験を活かし、それぞれの農業への思いを胸に体験型農園を運営しています。「利用者との交流」「楽しめる企画」「コミュニケーションづくり」といった特色は異なるものの、農業を楽しみながら都市農業への理解を深めてもらいたいという気持ちは共通しています。

都市農業においてマンションや住宅に囲まれた農地では、農薬散布や農機利用時の騒音に対する住民の理解など、数々の問題に対応しながら営農を続けていかなければならない難しさがあります。また前述のとおり、生産緑地の指定解除による農地の減少や、担い手不足などにより遊休農地が増加す



農作業に励む利用者

ることが懸念されています。

こうした中でも、市民は農に触れる機会を求めています。JAで開催するセラオープンカレッジやG o G o !! 田植えレンジャーなどは定員以上の申込みをいただくことも多く、参加者には種まきや収穫など農業体験をしてもらうことで、都市農業に対する理解を深めています。こうした一連の農作業を農業者の指導の下で行える体験型農園は、まさに多くの市民が求めているものなのではないでしょうか。

体験型農園は、園主が安定した収入を確保できる他、利用者自身が耕作することにより労働力不足の解消にもつながります。さらに利用者との交流が深まることで、自農園で栽培する農産物のファンが増えたり、消費者のニーズを把握することができると、プラスの効果も期待できます。

JAでは、体験型農園の運営に関してもさまざまな支援を行っています。農地の有効活用について検討されている方は、一度JAに相談していただき、新しい農業経営の一環として体験型農園を取り入れてみてはいかがでしょうか。

ラディーチェ



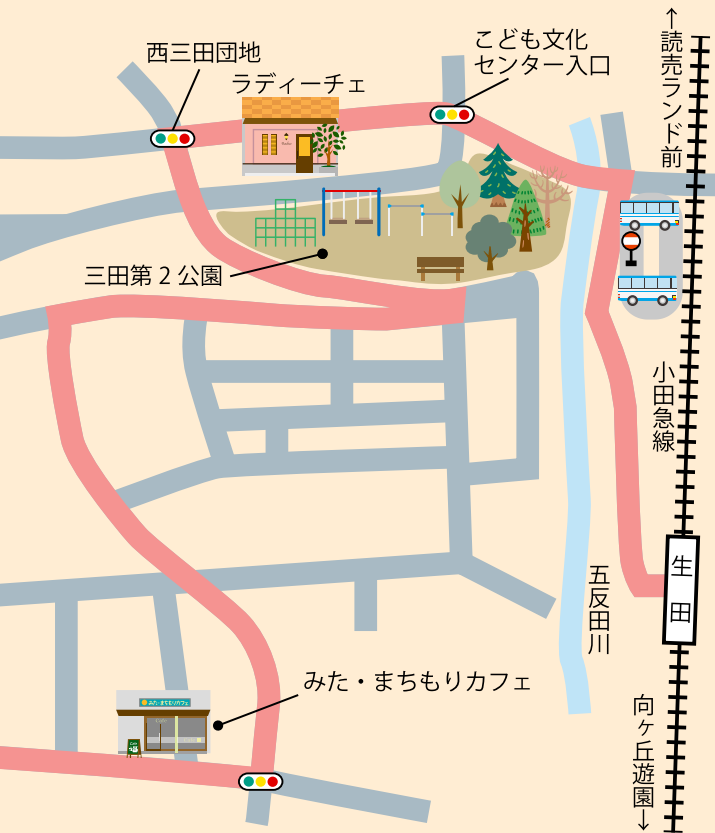
所 多摩区三田1-28-4-1F
 営 11:30~14:00、18:00~20:30
 休 月曜日

「木の根(ラディーチェ)のように地域に根付き、地域に愛されるイタリア料理を提供したい」との思いで、2013年5月にオープンしました

!!野菜の甘さが引き立つ!!



自家菜園やセレスアモスで仕入れた市内産農畜産物を使い、旬の食材の味を楽しめます。こだわりの自家製手打ちパスタは加水量を少なくしているので、モチモチとした食感を味わえます



今回は小田急線生田駅で下車し、澄み渡る冬空のもと街歩きへ出発します。
 五反田川沿いを進み店が立ち並び通りを歩いていると、小さなイタリアンレストランを発見!店主に話を伺うと、自家栽培した野菜を中心に地場産の農畜産物を使った料理を提供しているとのこと。野菜本来の味を楽しめると人気のコース料理をいただき、お腹を満たしました。
 店を後にして住宅街に入ると、木々が茂る山の斜面に作られた公園に辿り着きました。日当たりの良い園内で緑を楽しみ、次に足を進めます。
 坂道を歩き進んで大通りに出ると、カフェから元気な歌声が聞こえてきました。店内をのぞくと、コーラスの講座が開かれていました。お茶やデザート提供だけではなく、日替わりでいろいろなの

講座を行っているそうです。手作り感あふれる店内で一休みしていると、お客さんが「近くにおいしいロールケーキを売っているお店があるよ」と教えてくれたので、早速行ってみます♪
 坂を上り進むと、カラフルで大きい土管が目に入りました。広々とした公園に珍しい遊具が揃い、子どもたちが楽しそうに遊んでいました。園内には多くの樹木が植えられ、森林浴をしながら休憩するのにも良さそうです。
 公園の先にある広大な長沢浄水場の景色を見ながら歩き、坂を下っていくと、かわいらしい外観のケーキ屋に到着!評判のロールケーキと檸檬ケーキを買ったところで、今回の街歩きは終了。
 地域に残される憩いの場や、住みやすい街づくりに取り組む人々を訪ねた一日となりました。

!!お土産にもおすすめ!!



「生田のこのこ生ろーる」は、店主が試行錯誤を繰り返して誕生した一品。独自に配合した口どけの良いクリームを、しっかりと焼き上げたスポンジで包みました

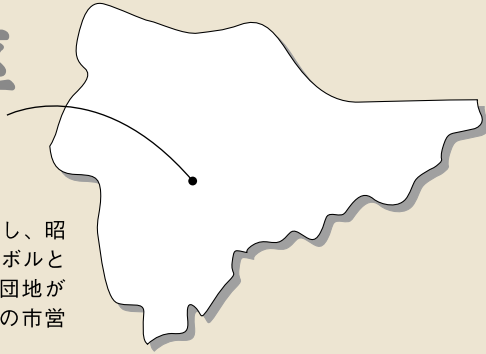
「大切な記念日を祝うお手伝いをしたい」と、フランス菓子店で積んだ経験を活かして幅広い世代の方に楽しんでもらえるケーキ作りをしています。



店主の下山さん

多摩区 三田

多摩区の中央に位置し、昭和41年に開発のシンボルとして7街区の西三田団地が建設された他、7つの市営公園がある。



三田第2公園



所 多摩区三田1-26-14
緑豊かな傾斜地にあり、別名「まむし公園」と呼ばれています。細長い敷地内には階段や坂が多く、斜面を使って自然を体感しながら遊ぶこともできます

みた・まちもりカフェ



所 多摩区三田1-13-1F
営 10:00~16:00※~13:00はセルフサービス
休 土曜日・日曜日
「地域の人が出会い、つながり、学び、いつでも集えるコミュニティーカフェ」として5年ほど前にオープン。地域住民のスタッフが温かく迎えてくれます

「温かみを感じる店内」

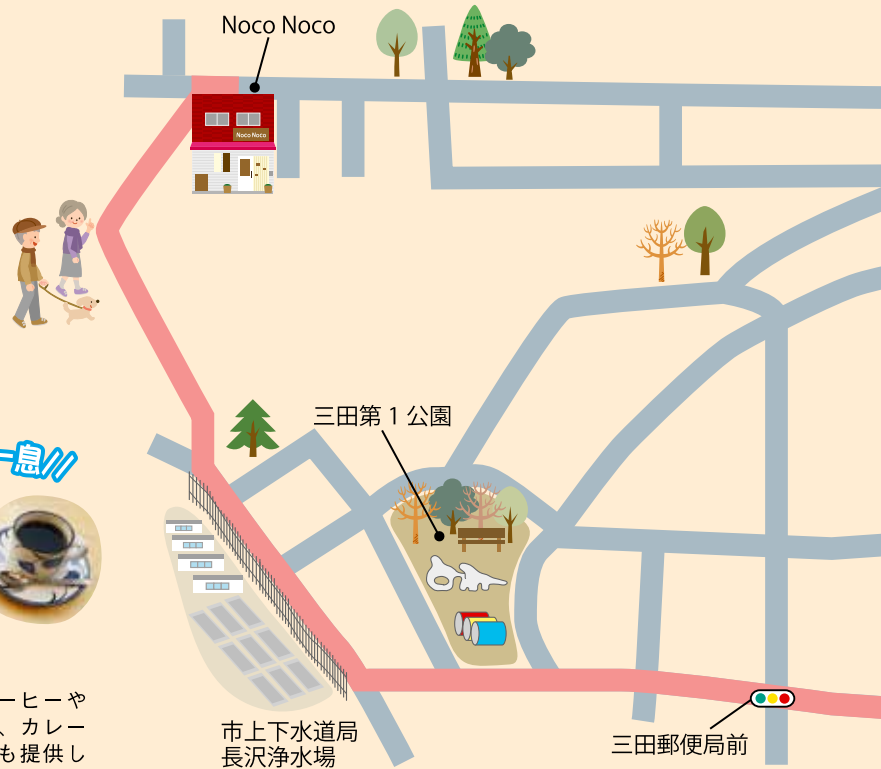


午前中を中心に、編み物や体操教室などさまざまな講座も行っています。手作り感あふれる店内には、講座で制作した作品やカフェ利用者の作品が飾られています

「ホッと一息」



有機栽培のコーヒーやデザートのほか、カレーやパスタなども提供しています



三田第1公園



所 多摩区三田4-5
土手に囲まれた少年野球場を中心とした広大な敷地に、さまざまな遊具が設置されています

「子どもたちの目を引く珍しい遊具」



ブランコや滑り台などの定番遊具の他に、4色のカラフルな土管や怪獣のような形の遊具があることから、「土管公園」「怪獣公園」と呼ばれています

Noco Noco



所 多摩区三田4-5546-55
営 10:00~20:00
休 木曜日
2005年11月にオープンし、夫婦で営むケーキ屋。店内には約20種類のケーキと焼き菓子が並びます

力を合わせてみそ造り

女性部による毎年恒例のみそ造りが、日吉支部で1月19日、中原支部で2月2日に行われ、各支部の部員が手造りみその仕込み作業に精を出しました。

日吉支部では12人の部員が参加し、米こうじと塩、機械でミンチ状にした20kgの大豆をたるに入れて手で混ぜ合わせました。部員は大豆の煮汁でみその硬さを調節し、「良くまとまってきた」などと確認しながら1時間ほどかけて約80kgのみそを仕込みました。

作業後は、前回仕込んだみそを使った豚汁や区内産野菜のサラダなどを味わい、労をねぎらいました。部員は「みんなで造ったみそは特においしい。今年のみそも楽しみ」と出来栄えに期待を寄せました。

また、中原支部では43人の部員が約200kgのみそを仕込みました。



手際良くみそを仕込む部員(日吉支部)

生産資材を安価で供給

JAセレサ川崎創立20周年記念「ウインターセール」を1月20日から4日間、経済センターとパーシモンで開催しました。

同セールは、肥料などの生産資材を持ち帰り価格として安価で供給することで、組合員の農業所得の増大につなげようと開いたもの。メーカーとの独自交渉を重ね、安価供給を実現しました。

また、同セールは例年2日間の開催でしたが、JAの創立20周年を記念して4日間に拡大。さらに、営農相談コーナーや農業機械の展示販売を同時開催しました。

店頭には肥料や農薬が所狭しと並べられ、メーカー担当者が用途に合った商品を説明。来店者は「少しでも安く買えるのはうれしい」と、目当ての商品を次々と買い求めていました。JAでは今後も、資材を安価供給できる取り組みを進めていきます。



商品をトラックに積む職員ら

親睦深めて生きがいづくり



会員と協力しながら砂絵を制作する参加者

助け合い組織チャットの会は1月25日、御幸支店で生きがい活動「おでかけ倶楽部みゆき」を開きました。

同活動は高齢者福祉活動の一環として各地区で開催され、今年で16年目。今回は23人が参加し、転倒予防体操や季節の砂絵を制作しました。

参加者は会員の手ほどきを受けながら、色とりどりの砂を順番に台紙に貼り付けてかわいらしい雛人形の絵柄を完成させました。

最後は、お茶を飲みながらそれぞれの作品を見せ合い、「子どもの頃に戻ったような気持ち。参加して良かった」と親睦を深めました。

剪定や有害獣対策について学ぶ

第7回アグリスクールを1月26日、市農業技術支援センターで開き、新規就農者ら19人が参加しました。

当日はJA営農技術顧問が講師を務め、夏野菜の育苗方法や果樹の剪定方法について説明。続いて実習では、柿やミカンの木を使い、顧問が手本を見せながら理想の樹形になるように剪定しました。

参加者は「どちらの枝を残せば良いか」などと質問しながら、枝の選択や切り方のポイントを学びました。

また、30日は果樹部講習会を本店で開き、同部員ら51人が参加しました。

講習会では、埼玉県農業技術研究センターの古谷益朗氏が、有害獣対策について説明。「正しいタイミングと方法で電気柵を設置することが重要」と訴えました。その後、神奈川県環境農政局の坂口裕佳氏が、県内の有害獣の現状について報告しました。

参加者は、講師の話に熱心に耳を傾け、被害を防ぐためのポイントを学びました。



顧問の説明を熱心に聴く参加者



古谷氏の講演を聴き入る参加者

市内産農畜産物の良さをPR

地産地消を推進しようと、県下一斉のよい食プロジェクト街頭PR活動を1月24日、小田急線新百合ヶ丘駅の通路で行いました。

JAはネギやホウレンソウ、ミカンなどの市内産農産物と、県内JA直売所のキャンペーンチラシなどを袋に入れて690セット準備。行き交う市民に手渡し、市内産農畜産物の良さをPRしました。



行き交う市民に市内産農産物を配布

質の高い加工品がそろそろ

加工品出荷登録者の新規開拓とともに、市内産農産物の6次化を支援するため、1月18日にモスピーホールで手作り加工品品評会を開きました。

今年は46人が漬物やジャム、みそなど計385点の自信作を出品しました。

当日は、県農業技術センターの職員と横浜地区のふるさとの生活技術指導士2人が、加工品の見栄えや味などを審査。コチュジャンなどの珍しいものや、ジャムの色合いの良さなど高評価な加工品も多く出品され、計11点が優秀賞に選ばれました。

なお、入賞者は21ページに掲載しています。



厳正に審査する審査員

活動発表で情報を共有

TAC・担い手担当者パワーアップ大会が1月19日、横浜市のホテルモントレ横浜で行われ、県下JAの担当者9人が活動事例などを発表しました。

当JAからは、営農部で県農業技術センターに出向中の高橋雅之職員が出演。今年度から新設された県中央会主催の「営農指導技術向上研修」の受講を通じた成果などを発表しました。

高橋職員は、「購入苗を利用したキュウリ半促成2本仕立て栽培」による研究成果として、定植作業の省力化や2本仕立てに合わせた品種選定などに努めてきたことなどを伝え、「今後も知識を深めてTAC担当者と情報を共有し、川崎の農業をさらに盛り上げていきたい」と語りました。

審査の結果、惜しくも優秀賞は逃しましたが、会場から大きな拍手が贈られました。



研究成果を発表する高橋職員

地域と協力して伝統行事を復活

青壮年部向丘支部は1月14日、同支部の創立40周年記念事業の一環として、宮前区初山のとんもり谷戸で、どんど焼き大会を行いました。

同イベントは「飛森谷戸の自然を守る会」と「カワサキ地酒復活プロジェクト」と協力し、かつて行われていた小正月の伝統行事を復活させようと開催されたものです。

当日は親子連れを中心に大勢の地域住民が訪れ、持ち寄った書き初めや部員手作りのだんごなどを焼き、農作物の豊作や無病息災を願いました。

また、地場産野菜や豚汁の販売なども行い、地域住民に市内農業をPRしました。

同支部の小泉博司支部長は「これからも子どもたちが楽しみながら伝統行事に触れる機会を作っていきたい」と今後の開催に意欲を見せました。



参加者とだんごを焼く小泉支部長

組合員イベント1日限定のショーを楽しむ



ショーを楽しむ組合員家族

JAセレサ川崎創立20周年記念「組合員イベント」を1月21日、東京ディズニーランドで行い、4,530人が参加しました。

このイベントは、組合員とその家族に日頃の感謝の気持ちを伝え、JAへの理解を深めてもらおうと開いたもの。一般開園前の1時間30分

を貸し切り、シンデレラ城前で式典を開催。原修一組合長らがフロートに乗って登場し、「思い出に残る1日を過ごしてほしい」と話しました。

式典後には全エリアを開放。参加者は、普段長蛇の列をなす人気のアトラクションを待たずに楽しむなど、特別な時間を満喫しました。

自己改革への意識を統一

賀詞交換会を1月11日、本店セレサホール飛翔で開き、支部長をはじめ各組織の代表、行政やマスコミ、役職員ら339人が出席しました。

年頭のあいさつで、原修一組合長はJAの自己改革について触れ「改革の一丁目一番地である農業所得の増大と農業生産の拡大に向け、セレサモスの利用促進を図るとともに、今後の課題である生産緑地問題にも行政と連携して取り組んでいきたい」と述べました。また、昨年創立20周

年を迎えられたことに対する感謝を伝えるとともに「今後も地域になくてはならないJAを目指し、役職員一体となって各事業に取り組んでいきます」と決意を語りました。

続いて県中央会の三ツ堀清巳副会長や松原成文川崎市議会議長らが、来賓を代表してあいさつしました。

また、本店アトリウムに飾られた花卉部馬絹支部による豪華な正月飾りや長沢囃子保存会が新春の幕開けに華を添えました。



新年のあいさつをする原修一組合長



新年の幕開けに彩りを添えた花卉部馬絹支部の皆さん

残農薬1,068kgを回収

残農薬や空容器などの回収作業を1月10日、麻生区の黒川営農団地管理倉庫と高津区千年のアグリベースで行いました。

この回収作業は、管内の農業維持とJAの環境に配慮した営農活動の奨励事業により行われているものです。

2か所で合わせて1,068kgを回収し、専門の処理業者に委託して適正に処理しました。



回収した残農薬などを計量する職員

JAの総合授業を学ぶ

JAでは、地域貢献活動の一環として、平成27年から中学生の職場体験を受け入れています。

1月16日には、多摩区の市立中野島中学校の生徒が、経済センターや個人直売所などを見学。翌日は菅支店で札勘定や来店者のお出迎えなどを体験しました。また、1月30日と2月1日には、麻生区の市立はるひ野中学校の生徒が、セレサモス麻生店で商品の陳列などを体験しました。

生徒は「農業の現場の話などを聞いて勉強になった」と笑顔で話しました。JAでは今後もさまざまな活動を通じて地域に貢献してまいります。



経済センターの業務を学ぶ生徒



田島副店長から陳列方法を教わる生徒



絵手紙を通じて 交流を深める



絵手紙を始めたのは、10年ほど前に病院で開催していた講座に参加したことがきっかけでした。1枚の紙に自由に思いを表現できることに惹かれ、別講座で意気投合した7人の仲間と月に一度集まり、思い思いに描いています。

若い頃は釣りが趣味だったため、モチーフは魚やエビなどの海産物が中心です。絵手紙で頭を悩ませるのは、絵に添える言葉。テレビや新聞などで良い表現があれば参考にし、外出中も思い浮かんだらすぐにメモを取ることを心掛けています。仕上げの色付けはクレヨ



ンや絵の具などを使い、イメージした色彩ができると「思わずガッツポーズをしています」。

手掛けた絵手紙は、200枚以上。完成した作品を見せ合い、その後は他愛のない話をしながら一日を過ごします。この時間は何にも代え難いひとときです。

毎年6月になると、近隣の郵便局で展示会を開催。局員や来店客からは「絵と言葉の表現の仕方がうまい」などと好評を得ています。

「これからも仲間との時間を大切にしながら、絵手紙を描いていきたい」と筆を進めます。

PROFILE

妻と旅行に行くのも趣味の1つ。娘が暮らす大阪や妻の故郷の福島、湯河原で旅行を楽しみながら、絵手紙を書くための材料を探しています。



幸区小倉
深瀬 二郎 さん



■ ひゅうまん

利用者に寄り添うケアを

宮前区神木本町 井田 友子さん

10年ほど前、市からの協力依頼もあり、特別養護老人ホームを設立しました。地域の人が、生まれ育った地元でいつまでも明るく元気に過ごしてもらえるよう力を注いでいます。

「経営者としての立場だけではなく、自らも地域に貢献したい」と、約150人の職員とともに研修を重ね、「自分自身が入りたい」「大切な人を入れたい」と思えるような家庭的で居心地の良い生活を目指しています。日々利用者に寄り添う中、いつも思い浮かぶのは亡き義母がよく口にしていた「女性には賢く美しくあれ」という言葉。外見だけではなく、「思いやりや感謝の気持ちを忘れなければ自分の心も豊かになる」との思いを胸に、温もりあるケアを心掛けています。施設では、脳トレや体操などを行う介護予防教室の他、クリスマス会やJA女性部によるコーラス、大正琴などさまざまなイベントを開催。特に毎年9月の秋祭りでは、職員や地域の小学校の児童、ボランティアらが協力し、模擬店の出店やよさこいなどを披露しています。利用者も一緒に歌ったり手拍



子を入れるなど、幅広い世代が楽しみながら交流を深めています。利用者や家族の笑顔や「ありがとう」の言葉がうれしく、大きなやりがいを感じています。

また、「職員の日頃の励みに応えたい」と、今年の夏頃には託児所を新設予定。職員がいつまでも安心して働ける場を届けることで、全員の心一つにしています。

これからも生涯現役で仕事に携わり、「ありがとうの言葉がこたまする施設であり続けたい」と、地域に密着した温かい施設を目指していきます。



子どもの頃から父の背中を見て育ち、気が付いた時には造園業に興味を持つようになりました。父が体調を崩したことをきっかけに、大学卒業後実家の「みつや園」に就職して15年目になります。

『誰もが喜ぶ 景観を作るために』

高津区溝口 三家恵伍さん

就職してしばらくは、先輩たちが手入れをして出た葉や枝くずを熊手を使い掃除する毎日。現場では、木々を見て一言話だけで完成イメージを共有していることにとっても驚かされ、「早く1人前になりたい」と

強く思うようになりました。祖父の代から仕事をしていた先輩たちが引退すると、すぐに1人立ちすることになりました。実際に作業をしてみると、大きさや整え方、周囲との調和など先輩たちが当たり前

異なる現場で剪定や土壌改良を行いながら作庭工事を実施。お客さんの要望に応えながら、徐々に自分のスタイルを形成していきました。多くの現場を経験していく中、数年前小学校で落葉樹やパンジー・ビ

のようにやっていったことがどんなに大変だったのかよく分かりました。「足手まといになりたくない」と、個人宅やマンションなど自分で新規の仕事をとってき

ては、広さや形がオラなど季節に合わせた花の植栽を行いました。完成して数日後、学校の前を通った時に児童や保護者が足を止め写真を撮って楽しむ姿を見て、「大きな手応えを実感しました」。

最近では、木の病気の他生育が困難、改築などの理由から伐採の依頼が増加。手入れのアドバイスや樹木医と相談するなど、残せる木は伐採せず保存できるように働き掛けも行っています。身近に木や花があることが当たり前となつている今、「多くの人に暖かみや魅力を再認識してもらおう『花育』をしたい」。そんな思いを胸に抱き今日も仕事に励みます。

休みができると、家族で旅行やキャンプに行きリフレッシュしています。歳が近い青壮年部の仲間との食事や旅行も楽しみの1つです。「ここ数年スキーに行っていないので今シーズンは行きたいです」。



アブラナ科アブラナ属で、日本原産の野菜です。古くから京都で栽培されていたため、「京菜」とも呼ばれています。以前は関西方面の地域にのみ出回っていたミズナですが、近年は全国で人気の野菜となり、関東でも多く栽培・出荷されるようになりました。保存の際は、湿らせた新聞紙などで全体を包んでポリ袋に入れ、冷蔵庫の野菜室へ入れましょう。あまり日持ちがしないので、早めに使いきるようにしましょう。

シャキシャキとした食感で、クセのない味わいが特徴のミズナ。サラダやお浸し、鍋物など幅広い料理に適し、調理の手軽さからも近年人気を集めている野菜です。

水耕栽培のものが年中出回っていますが、本来の旬は冬から早春にかけてです。関西では、「ミズナが並び始めると冬本番」と冬の訪れを知らせる野菜として古くから親しまれてきました。寒さに強く、霜にあたると味が良くなります。

ミズナは、色合いから淡色野菜と思われがちですが、実はベータカロテンが豊富に含まれる緑黄色野菜です。抗酸化作用のあるビタミンAやビタミンCだけでなく、カリウムやカルシウムなどのミネラルもたっぷり含まれており、生活習慣病の予防にも役立つとされています。

生のままでも加熱してもおいしく食べられるミズナですが、含まれる栄養素を最大限に活かすには生のままサラダにするのがおすすめです。加熱調理する場合は、シャキシャキとした歯触りを残すためにも、さっと火を通す程度にしましょう。

購入の際は、葉の緑色が鮮やかで先までピンとまっすぐなものを選びましょう。

ミズナとちくわの中華風サラダ

材料(2人分)

- ・ミズナ…2束 ・ちくわ…2本
- ・ミニトマト…4個 ★醤油…大さじ1
- ★酢…大さじ1 ★ごま油…大さじ1
- ★炒りゴマ…大さじ1 ★砂糖…適量

作り方

- ①ミズナは良く洗い、水気を切って5cm幅に切る。ちくわは斜めに薄く切り、ミニトマトは半分に切っておく。
- ②ボウルに★を入れて混ぜ合わせる。
- ③①と②をよく混ぜ合わせたら、できあがり。



露地トマト黄化葉巻病の被害を防ぐために

昨年、市内ではトマト黄化葉巻病が発生し、大きな被害を受けた方もいると思います。今年もトマトの播種時期を迎えました。今年は大きな被害を受けないよう、対策にあたってください。



【トマト黄化葉巻病とは】

- ・新葉の葉縁が退緑、黄化して葉巻状になります。さらに進行すると縮葉して頂部が叢生し、節間が短くなり、株全体が委縮します。
- ・タバココナジラミがトマト黄化葉巻ウイルスを伝搬することで発生します。罹病したトマト葉を吸汁して保毒虫となったタバココナジラミは、死ぬまでウイルスを伝搬し続けます。
- ・タバココナジラミは低温に弱いため、冬は栽培ハウスの中などで越冬・増殖し、暖かくなってくるとハウスを飛び出し、露地の作物に移り住みます。この時、定植間もない露地トマトにもウイルスを媒介します。ナスやキュウリにも寄生しますが、このウイルスは媒介しません。



トマト黄化葉巻病

【防除方法】

- ・育苗期にこのウイルスに感染すると、定植後間もなく症状が現われ被害が大きくなるので、育苗期のタバココナジラミ防除を徹底してください。
- ・育苗施設の天窓、サイド、出入り口など全ての開口部は目合い0.4mm以下（0.3mmなら万全）の防虫ネットを展張し、タバココナジラミ成虫の侵入を防ぎます。隙間のないように張り、破れがある場合は必ず補修します。また出入り口は二重にしておきます。
- ・播種後、鉢上げ後の苗も防虫ネットで被覆します。
- ・育苗施設には栽培植物以外の植物を持ち込まず、施設内外の雑草は除去します。
- ・育苗期と定植時には、ベストガード粒剤やスタークル粒剤を処理します。
- ・購入苗を利用する人は、ウイルス感染やタバココナジラミの寄生がないことを確認してください。苗に防除履歴がない場合は、苗到着後、上記粒剤をポットの株元に処理します。
- ・購入苗をすぐに定植する場合は、定植1～2日前に上記粒剤をポットの株元に処理し、灌水して薬剤の吸収を促したうえで定植する方法が効果的で省力的です。
- ・上記粒剤の効果は処理後3週間までと考え、各自の育苗方法や育苗日数などに応じ、使用基準を守って使用してください。
- ・タバココナジラミに有効な茎葉散布剤は、ベストガード水溶剤、スタークル顆粒水溶剤、ディアナSC、アフーム乳剤、コロマイト乳剤、アニキ乳剤、コルト乳剤、マッチ乳剤、モベントフロアブルなどです。またサンクリスタル乳剤やエコピタ液剤などの気門封鎖剤も、うまく組み合わせて、ローテーション防除を行いましょう。
- ・タバココナジラミは体長0.8mmと小さく見つけにくいので、露地でも黄色粘着板をほ場周囲に設置し、防除適期の把握に努めてください。
- ・なお、施設栽培では栽培終了株は切断・抜根して枯死させるとともに、施設を密閉して40℃以上、10日間以上の蒸し込み処理を行い、タバココナジラミを死滅させ、外に出さないようにしましょう。

※JAでは、本欄で執筆している営農技術顧問による営農相談コーナーを開いています。病虫害被害の場合は、被害作物もご持参くださると助かります。開催日は22ページをご参照ください。

農協改革

～ 市内中学校給食への 食材供給は「自己改革」の柱 ～

当JAでは、「自己改革」の柱の一つとして、地場産農産物を市立中学校給食の食材として供給しています。この取り組みは、市立中学校の完全給食化に向け、川崎市や関係諸団体と協議を重ねた結果実現したものです。

市内では、南部・中部・北部の3つの給食センターを中心に、市立の全中学校52校合わせて最大34,000食分（生徒数は約29,000人）の供給体制が整備されています。こうした中、地場産農産物の供給については「セレスモス」がその役割の中心を担い、1月末までに11品目、計7,140kgを供給しました。

中学校給食への安定的な食材供給には、生産者の皆さまとの連携・調整が必要ですが、販路拡大により農業所得の増大・農業生産の拡大につながります。また、教育現場で食農・食育教育が展開されることにより、市民の地場産農産物に対する「新鮮で安全・安心」という「付加価値」が一層高まることが期待されています。

当JAでは学校給食への安定的な食材供給は、地産地消の増進や地域貢献などを通じる他、都市農業振興に対する市民の理解促進にも大いにつながるものと確信しています。

今後も、生産者の皆さまの協力をいただきながら学校給食への食材供給に取り組んでまいりますので、一層のご理解、ご協力をお願いいたします。



給食食材用にナスを搬入



給食初日の様子

3月の運勢

モナ・カサンドラ

おひつじ座 3/21～4/19

【全体運】優しい雰囲気になり、人気運が高まる予感。誰にでも親切にすることで、ますます運氣アップへ【健康運】体力を付ける好機。手軽な運動を始めて【幸運の食べ物】ひじき

おうし座 4/20～5/20

【全体運】好奇心を刺激されやすい期間。興味を引かれることがあるなら、情報収集を。無料体験も◎【健康運】冷え対策を徹底すると体調が上向きそう【幸運の食べ物】アシタバ

ふたご座 5/21～6/21

【全体運】できる人と比べて、落ち込む暗示。開き直りの気持ちを決意。気分転換には植物に触れると効果大【健康運】食事の栄養バランスが好転のポイントに【幸運の食べ物】サヨリ

かに座 6/22～7/22

【全体運】積極性が増す時期。やってみることに、どんどんトライしてみましょう。周りのサポートにも恵まれるはず【健康運】無理は禁物。のんびりして【幸運の食べ物】夏ミカン

しし座 7/23～8/22

【全体運】ささいなことが気になってしまう傾向あり。重箱の隅をつつくような見方はやめ、おおらかさを発揮して【健康運】安泰ムード。スポーツを楽しむとグッド【幸運の食べ物】ニラ

おとめ座 8/23～9/22

【全体運】何かと迷ってしまいそう。頼れる相手に相談を。中途半端になっていることを片付けると開運に【健康運】うっかりしやすいため小さなけがに注意【幸運の食べ物】ウド

てんびん座 9/23～10/23

【全体運】心理的に不安定になりやすいよう。深呼吸をして心を静めて。また、うわさ話には関わらない方が賢明【健康運】軽く体を動かせば、最適な気分転換に【幸運の食べ物】ワカサギ

さそり座 10/24～11/22

【全体運】楽しいことに縁がありそう。イベントや飲み会、旅行などに誘われたら、気軽に顔を出してみよう【健康運】運動不足になりやすいかも。散歩が有効【幸運の食べ物】タマネギ

いて座 11/23～12/21

【全体運】注意力が散漫になり、思わぬミスを連発しがち。慣れている作業ほど慎重に。運氣回復には掃除が◎【健康運】のんびり過ごすことで、体調に好変化が【幸運の食べ物】カラシナ

やぎ座 12/22～1/19

【全体運】コミュニケーション運が華やぐ気配。初対面の相手とも話が弾みそう。人気スポットに出掛けるのも吉【健康運】不規則な生活を改善すれば、運氣上昇【幸運の食べ物】アサリ

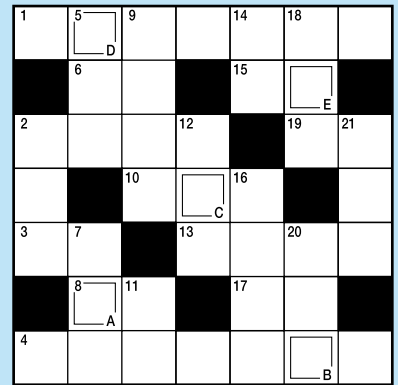
みずがめ座 1/20～2/18

【全体運】ゆったり構えることで、保留になっていた事柄にうれしい展開が訪れるはず。焦らず、堅実な行動が必要【健康運】姿勢を正してみよう。体に良い影響あり【幸運の食べ物】ミツバ

うお座 2/19～3/20

【全体運】やりたいことを実行に移すチャンス。何事も前向きに取り組んで。過去に駄目だったこともリベンジ可能【健康運】食べ過ぎに注意。腹八分目の徹底を【幸運の食べ物】イダコ

クロスワードパズル



タテのかぎ

- ②在校生の送辞に対する卒業生の返事
- ⑤15日間ある大相撲なら8日目
- ⑦ケーキを焼く前にオープンを____した
- ⑨大学____に向けて受験勉強しています
- ⑩日によって値段が変わるメニューにはこう書かれます
- ⑫宇野重吉と寺尾聰、渡辺謙と杏
- ⑭国民の三大____は教育・勤労・納税です
- ⑯食材をいびうして作ります
- ⑰石原裕次郎のヒット曲「____よ今夜も有難う」
- ⑱豚カツの衣の一番外側
- ⑳永世中立国として有名。首都はベルン

ヨコのかぎ

- ①お内裏さま、五人ばやしといえ
- ②胸びれを広げて滑空します
- ③____学生、修道____
- ④ラディッシュとも呼ばれます
- ⑥水を多めに入れて炊いた米
- ⑧ドライバーで締め付けます
- ⑩とっくりを持ってお____した
- ⑬円を描くときに使う文房具
- ⑮大、小、裸から連想される穀物は
- ⑰定規を使うとききれいに引けます
- ⑱クルミやドングリが似合う小動物

12月号のこたえ

フクブクロ



応募総数 34通

当選者5人の発表は賞品の発送をもって替えさせていただきます。*住所・氏名等の記入忘れがある場合は正解しても無効となりますのでご注意ください。



◇出番待ちのコート◇

20年ほど前、娘が真っ赤なセーラーカラーのウールコートを買いましたがあまりの愛らしさに、数回着用しただけで収納ケースにしまっていました。17歳になった孫が、そのコートを気に入り、現在出番待ちをしています。

(幸区・梶さん)

◇生長が楽しみ◇

麻生不動院のダルマ市でデコボンとミカンの木を買いました。何年後かは分かりませんが、実がなるのが楽しみです。

(宮前区・ころママさん)



◇うれしい幸運の食べ物◇

運勢コーナーを読み「幸運の食べ物」が自分の大好物の時は、年がいてもなくともうれしくなります。

(麻生区・篠木さん)

◇100歳まで元気に！◇

最近足が痛くなってきたので、介護予防のためにストレッチや体操をしています。いつまでも元気に自分の足で歩きたいです！

(中原区・川口さん)

◇楽しみな料理紹介◇

Dish Up!に自分が作れそうなレシピがあるとチャレンジしています。以前紹介された春雨スープはショウガ入りで体も温まり、簡単に作れて寒い冬に最高です。

(高津区・ヨシさん)

◇古代の川崎を感じる◇

川崎探検隊で紹介された南加瀬周辺を歩きました。縄文時代の住居跡など興味を引く遺跡が多くあり、古代を身近に感じました。

(川崎区・陶山さん)

◇農業の未来を感じる◇

表紙を見て、元気の良い若手農業者が作業に励む姿に市内農業の未来を感じています。

(麻生区・田村さん)

◇今年も大漁！◇

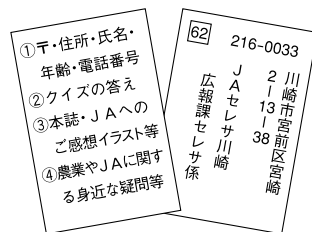
馬絹神社の節分祭に行ってきました。餅やお菓子などをたくさんもらえてうれしかったです。来年も楽しみたい(宮前区・大西さん)



応募方法

■このコーナーでは身近なできごと等、皆さまからお便りをお待ちしております。お便りをいただいた方およびクイズにお答えいただいた方の中から抽選で5人の方にセレスモス等で使える農協全国商品券1,000円分をプレゼントします。送付方法は郵送で、郵便番号、住所、氏名(匿名の方はペンネームを添えて)、年齢、電話番号を記入し、右記まで送付してください。写真の掲載を希望される方は、プリントを封書でご送付ください。※匿名を希望される場合は必ずペンネームをお書き添えください。個人情報保護法に基づき、応募された方の個人情報は賞品発送以外には使用しません。

◎締切 3月16日(金)必着



お寄せ頂いたご感想、イラスト等は本誌に掲載することがあります。

2月号より、プレゼント賞品をセレスモス等で使える農協全国商品券に変更いたします。

平成31年度職員採用のお知らせ

新採用職員の募集を3月1日(木)より開始します。
【対象】平成31年3月に大学(院)、短大、専門学校を卒業予定の方。大学(院)、短大、専門学校の既卒者で卒業後3年以内で一度も就職していない方
【説明会日程】4月13日(金)10:00~14:00~
 4月14日(土)10:00~14:00~
【場所】J A セレサ川崎本店(川崎市宮前区宮崎2-13-38)
 (東急田園都市線「宮崎台」駅下車徒歩5分)
 ※宮崎支店ではありませんのでご注意ください。
 関心のある方は、J A セレサ川崎ホームページから「マイナビ2019」をご覧ください。採用に関する詳細が記載されております。

J A セレサ川崎創立20周年記念誌を発売

J A セレサ川崎は、今年度創立20周年という大きな節目を迎え、20周年の冠を掲げたさまざまな事業を展開しています。
 この20周年を記念するとともに、セレサ川崎の20年間のあゆみを後世に伝えていこうと、「新たなステージへの挑戦」と題した「J A セレサ川崎創立20周年記念誌」を発売いたしました。

記念誌は、A4版、オールカラー、80ページで作成。創立当初からの出来事を写真中心で紹介し、創立20周年の記念式典やイベントなども掲載しています。ぜひご覧ください。



◇もったいないアイコン◇
 mail boxに載っていた紅白ダイコンに驚きました。2色になることもあるのですね。食べるのがもったいない!
 (中原区・中館さん)
 ◇絶品キャベツができた!◇
 今年は甘くてとてもおいしいキャベツができました。鍋にしてもサラダにしても絶品です。
 (宮前区・持田さん)
 ◇投稿のお礼◇
 たくさんのお便りありがとうございました。これからもご感想お待ちしております。
 (J A 広報課)

おむすびレシピで表彰を受ける

家の光協会とJ A 全国女性協主催のおむすびレシピのコンテストが12月4日に行われ、全国から347点(1点につき2品)のレシピが出品されました。
 当J Aからは、セレサモス宮前店のパート職員14人がニンジンやナスなどを使った自信作4点を出品し、「シャキシャキ蓮根のおつまみおにぎり」と「銀杏と鶏皮おにぎり」が見事審査員特別賞を受賞しました。
 同レシピは、「家の光」6月号(5月1日発行)に掲載される予定です。



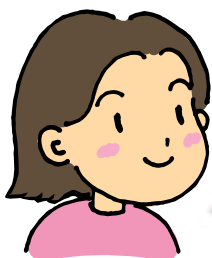
晴れの入賞者 敬称略()内住所

平成29年度手作り加工品品評会
 1月18日 モスビーホール 出品点数385点
 ▽優秀賞＝梅ジャム、メロンの粕漬、梅干、ししゆずピール・越畑隆子(黒川)、しその実の塩漬、紫イモのジャム・森そめ代(久末)、きゅうりの調味漬・鈴木千佳子(菅城下)、オクラのピクルス・中山君江(末長)、コチュジャン・新堀智恵子(南加瀬)、金美人参のジャム・柏木智壽子(千年)、干し柿・中島貴美子(井田)

教えてJA! Q&A広場

農業やJAに関する身近な疑問等をお寄せください

セレサモスに県外J Aの特産品が販売されているのを見かけますが、どのようなつながりがあるのでしょうか。



セレサモスのフェアの様子

なるほど。各地の特産品を買えるのも魅力的ですね。

セレサモスでは、激甚災害時における相互支援協定を締結している富山県のJ A 氷見市をはじめ、宮城県のJ A 栗っこ、京都府のJ A 京都やましろなど交流の深いJ Aの特産品を販売しています。定期的に提携J Aのフェアなどを開催し、氷見牛を使ったコロッケや宇治茶、能登米なども人気を集めています。

セレサモスのフェアやイベント情報は、23ページやホームページに掲載していますので、市内産農畜産物と一緒にぜひお買い求めください。



JAからのお知らせ

◇理事会だより◇

☆第10回定例理事会
平成30年1月16日(火)本店で開催

【報告事項(開催結果)】

「創立20周年記念農業まつり」

日時：平成29年11月19日(日)
9時～14時

場所：各統括支店 11会場

来場者数(ハガキ回収)：24,137人

(管内：19,561人、管外：4,576人)

「創立20周年記念セレサ得する市」

日時：平成29年12月14日(木)、

15日(金)9時30分～15時30分

場所：本店・セレサモス宮前店

来場者数：606人

売上額：482万円

【報告事項(今後実施すること)】

「平成30年度新茶推進」

期間：平成30年2月1日(木)～

6月30日(土)

目標：<数量>5,100kg

<金額>3,570万円

取扱商品：エコーブ茶、足柄茶、

宇治茶

他17項目を報告。

【協議事項】10項目を協議決定。

◇組合員の皆さまへ◇

組合員資格に変更のある場合は、当JAまでお申し出ください。

セレサのDATA

購買品供給高	8億95百万円
販売品取扱高	11億10百万円
施設事業契約高	80億41百万円
貯金	1兆4,789億円
貸出金	5,356億円
長期共済保有高	1兆6,732億円
年金共済保有高	342億円
組合員数	67,807人
うち正組合員	5,670人
准組合員	62,137人
(1月31日現在)	

営業時間のご案内

☆支店窓口…平日9:00～15:00
☆ATM…8:00～21:00(セレサモス麻生店は営業時間内の稼働)
☆経済センター店舗…平日・土日
9:00～16:30 ※祝日は休み
☆セレサパーシモン…平日・土日
9:00～16:30 ※祝日は休み
☆セレサモス麻生店…10:00～17:00
セレサモス宮前店…10:00～18:00
(定休日：水曜・年末年始他)
※3月21日(祝)・28日(水)は臨時営業いたします。
※節電対策により、営業時間が一部変更になっております。

3月の営農相談コーナー

☆JA経済センター
(宮前区有馬2-13-1)
2日(金)、7日(水)、9日(金)、
14日(水)、23日(金)、28日(水)
☆セレサパーシモン
(資材店舗：麻生区片平2-30-15)
6日(火)、13日(火)、15日(木)、
20日(火)、27日(火)、29日(木)

時間：9:00～16:00

相談員：JAの営農技術顧問

その他：ご予約は不要です。

3月の経営相談日(法営)

6日(火) 9:30～11:30 宮前支店
13:30～15:30 中原支店
13日(火) 13:30～15:30 みなみ支店
13:30～15:30 生田支店
20日(火) 13:30～15:30 中原支店
24日(土) 9:30～11:30 梶ヶ谷ビル
27日(火) 13:30～15:30 稲田支店
相談時間は原則30分程度。予約制。
ご予約は相談日前営業日16:00までに各会場支店の総合相談担当まで。
(梶ヶ谷ビルは本店資産相談課まで)

3月の年金無料相談会

1日(木) 宮前平支店
4日(日) 菅支店
6日(火) 梶ヶ谷支店
8日(木) 野川支店
11日(日) 中原支店
13日(火) 菅生支店
15日(木) 千代ヶ丘支店
18日(日) 御幸支店
20日(火) 鷺沼支店
22日(木) 新百合丘支店

ご予約は開催支店まで。

3月の休日住宅ローン相談会

24日(土) 大師支店、御幸支店、
住吉支店、北見方支店、
野川支店、宮崎支店、
上作延支店、菅支店、
千代ヶ丘支店、栗平支店
25日(日) 小向支店、小杉支店、
高津支店、子母口支店、
鷺沼支店、長沢支店、
百合丘支店、新百合丘支店
開催支店または下記ホームページからご予約のうえ、ご来場ください。
ご予約がない方はお待ちいただくことがございます。時間は9:00～15:00

3月のセレササロン

7日(水) 高津支店
内容：クラフトテープでコースター作り
会費：900円

★中原会場と生田会場は生きがい活動とタイアップになります。

対象：おおむね60歳以上の方

お問合せ・お申込み

本店生活福祉課(TEL877-2509)

セレササービスのご案内

JAセレサ葬祭センターは、ご葬儀ご法事など、信頼と安心・安全をモットーにまごころを込めてご奉仕いたします。

提携式場として、「中野島ほうさい殿」も、ご利用いただけます。

事前相談や見積もり等承っております。お気軽にお問合せください。

(日・祭日除く 9時～17時)

フリーダイヤル みおくる ところ

0120-3096-56

危急のご連絡は24時間・年中無休

<http://www.ceresa-service.co.jp/>

3月の遺言信託個別相談会

今年度の相談会は終了しましたが、ご希望の方は日程を調整のうえ個別相談を行いますので、お気軽にお近くの支店までお問合せください。

※JA神奈川県信連 信託代理店

JAセレサ川崎 本店金融推進部

(TEL877-2140)

当JAが行う遺言信託代理業務は契約締結の媒介です。

HPで気軽に素早く情報をゲット

機関誌セレサはHPにて、閲覧することができます。また、各事業内容やイベント情報などを随時更新し、お知らせしています。

ぜひ情報入手のツールとしてご活用ください。





- ① 松本 崇さん
- ② 多摩区東生田
- ③ 宮前店・麻生店
- ④ ジャム・タケノコ・ユズなど

出荷者のコメント

自家栽培した農産物を使って年間20種類ほどのジャムを作り、全量セレスモスに出荷しています。柿ジャムなどには花ユズの果汁を入れてほど良い酸味を加えています。また、オレンジやユズジャムは湯や酒で割って食べてもおいしいので、ぜひお試しください。



- ① 藤田 信夫さん
(藤田 清美さん)
- ② 宮前区水沢
- ③ 麻生店・宮前店
- ④ ミョウガ・サトイモ・ネギなど

出荷者のコメント

妻と2人で年間約40品目の野菜を栽培しています。中でも温室で溶液栽培しているミョウガは、マルチを2種類活用することで光の強さや当て方を調整し、きれいな赤色ができるようにしています。薬味や食事の一品としてご賞味ください。



- ① 森 辰雄さん
- ② 高津区久末
- ③ 宮前店
- ④ トマト・ダイコン・ブロッコリーなど

出荷者のコメント

約90㎡の畑と温室で、年間約30品目の野菜を栽培しています。主力の温室トマトは、ミニから大玉まで3品種を栽培。特に「風林火山」は、裂果がほとんどなく、食味も良いのでおすすめ。完熟状態で出荷しているため、すぐに食べられます。ぜひお試しください。



- ① 小山 仁美さん
- ② 麻生区栗木
- ③ 麻生店・宮前店
- ④ シイタケ・キクラゲ・米粉ドーナツなど

出荷者のコメント

7年ほど前から能登米を使ったグルテンフリーの焼きドーナツを作っている他、防空壕跡地を利用してシイタケとキクラゲを栽培しています。また、新開発の発熱ヒーターを駆使した栽培法を取り入れ、コストを抑えたイチゴやトマトの施設栽培も行っています。

① 氏名 ② 住所 ③ 出荷店舗 ④ 主な出荷品目 ※()は出荷登録者名

セレスモスからのお知らせ

セレスモス麻生店

2月下旬以降はブロッコリーやホウレンソウなどの冬野菜が出荷される予定です。

また、食育ソムリエによる市内産農産物を使用した試食会などさまざまなイベントを開催しています。日程等について、詳しくは下記ホームページをご確認ください。

3月21日と28日は臨時営業いたします。皆さまのご来店を、心よりお待ちしております。

所在地：川崎市麻生区黒川172
電話：044-989-5311
営業時間：〈11月～3月〉10:00～17:00
定休日：毎週水曜日、年末年始

3月の出張販売

1日(木)11:00～小向支店
15日(木)11:00～みなみ支店
※荷がなくなり次第終了となります。

お米の日

【宮前店】毎週金曜日(第2金曜日を除く)と最終土日は全銘柄を1割引第2金曜日は1銘柄を2割引にて販売いたします。

【麻生店】第3、4金土曜日は1銘柄を2割引にて販売いたします。

☆セレスモスの駐車について警察署からの指導により、駐車場への路上待機は一切できません。

セレスモス宮前店

2月下旬以降はのらぼう菜などの葉物類が多く出荷される予定です。

また、食育ソムリエによる市内産農産物を使用した試食会などさまざまなイベントを開催しています。日程等について、詳しくは下記ホームページをご確認ください。

3月21日と28日は臨時営業いたします。皆さまのご来店を、心よりお待ちしております。

所在地：川崎市宮前区宮崎2-1-4
電話：044-853-5011
営業時間：〈通年〉10:00～18:00
定休日：毎週水曜日、年末年始



Dish Up!



材料 (4人分)

- ・タマネギ…1個
- ・リンゴ…1/2個
- ・ニンジン…1/3本
- ★・ニンニク…1~2片
- ・ショウガ…1片
- ・レモン汁…1個分
- ・白ワイン…100ml
- ・豚スペアリブ…1kg
- ・塩…大さじ2
- ・粗挽きコショウ…大さじ1/2
- ・ハーブ
(バジル、ローズマリー)…適量
- ・オリーブオイル…100ml

豚スペアリブ

作り方

①★をフードプロセッサーにかける。



④③にラップをかけて冷蔵庫に入れ、1日ほど漬け込む。



②ボウルに食べやすい大きさに切った豚スペアリブを入れ、塩、コショウを振って揉む。

⑤漬けダレを取り除いた④を、中火のグリルで20分ほど焼いたら、できあがり。



③②に①とちぎったハーブ、オリーブオイルを入れてさらに揉み込む。



ワンポイントアドバイス

中原区井田中ノ町 伊藤 珠芸さん
砂糖の代わりにリンゴを使うことで、柔らかい食感を味わえます。また、フライパンではなくグリルで焼くことで水分が飛び、カリッとした仕上がりになります。表面が焦げそうな場合は、アルミ箔を被せて調整してください。

